

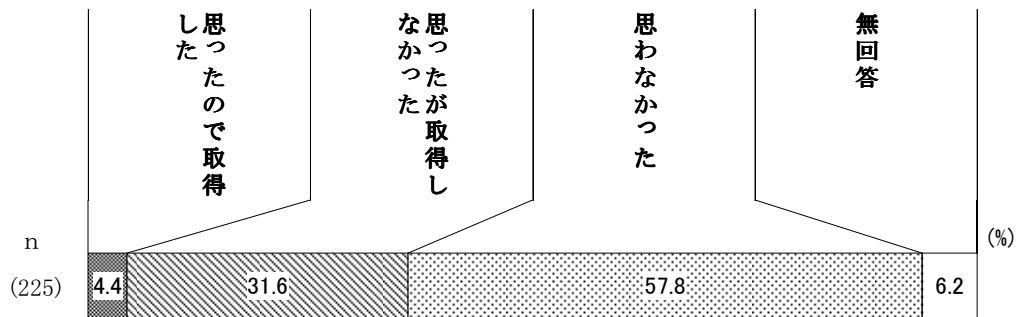
### 3. 職場

#### (1) 育児休業の取得状況

**問12、問12-1 はご自身に高校生以下の子どもがいる方にかがいます**

問12 あなたは子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと思われましたか。(○は1つ)

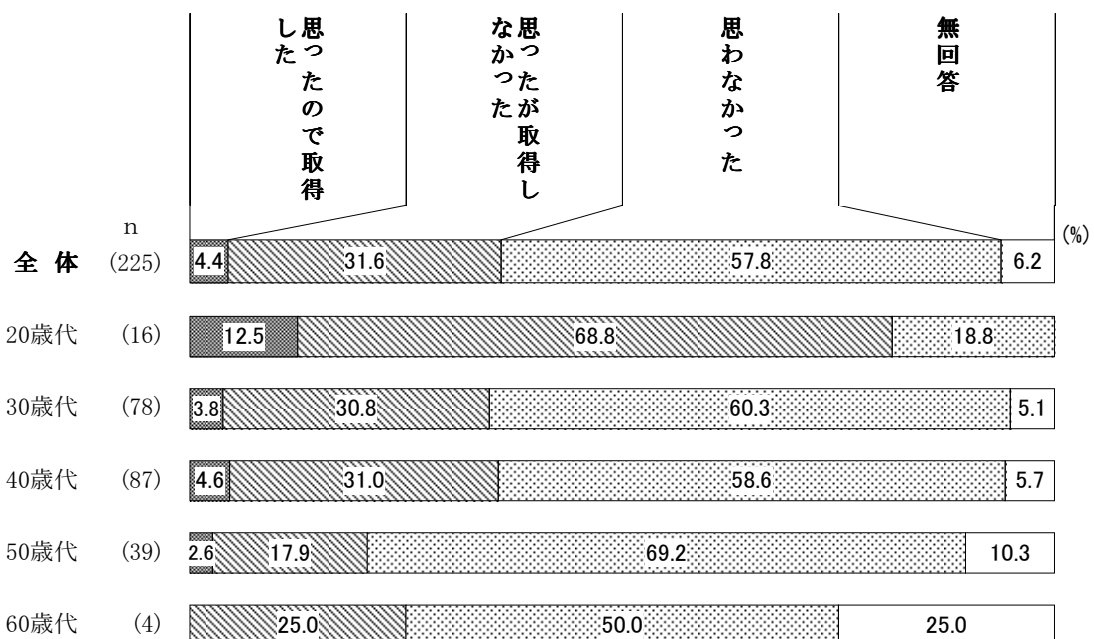
図表3-1 育児休業の取得状況 (全体)



子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと「思ったので取得した」は4.4%となっている。一方、「思ったが取得しなかった」は31.6%、「思わなかった」は57.8%となっている。(図表3-1)

年齢別でみると、30歳代、40歳代では「思ったので取得した」が、それぞれ3.8%、4.6%となっている。(図表3-2)

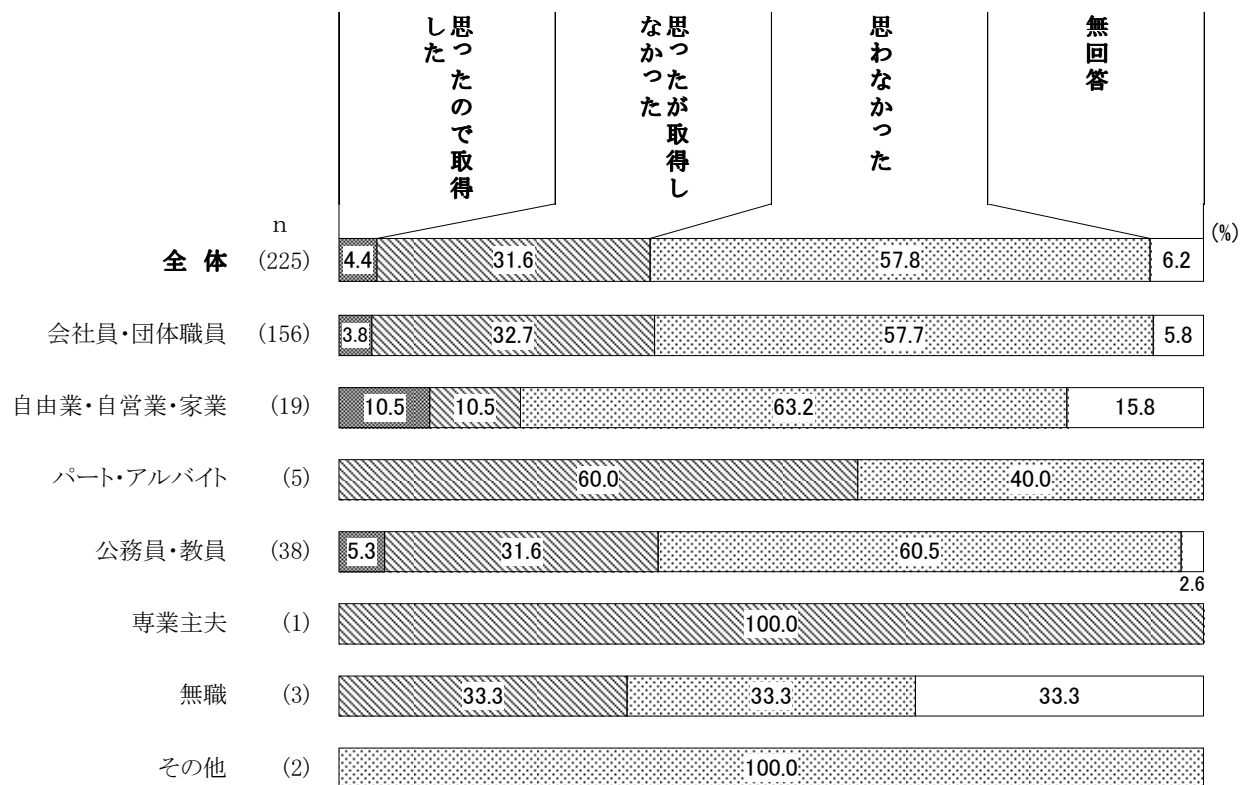
図表3-2 育児休業の取得状況 (年齢別)



※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

職業別でみると、公務員・教員、会社員・団体職員では、「思ったので取得した」が、それぞれ5.3%、3.8%とやや高くなっている。(図表3-3)

図表3-3 育児休業の取得状況（職業別）



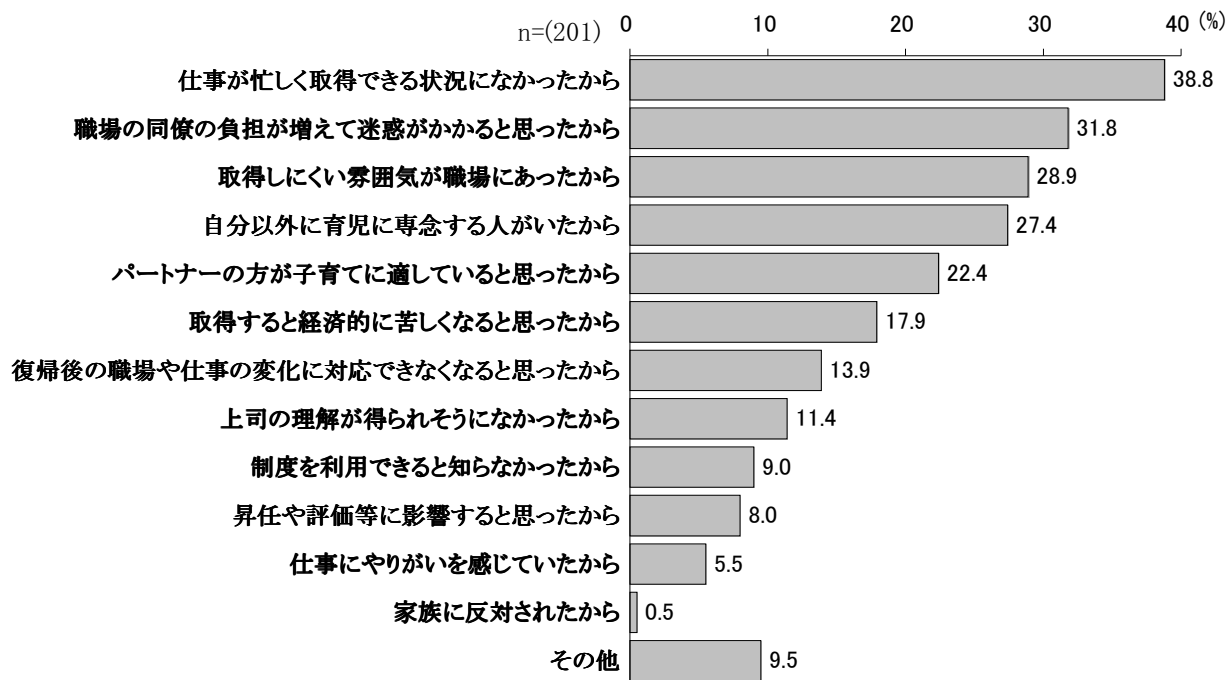
※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(2) 育児休業を取得しなかった理由

問12で「2. 思ったが取得しなかった」、または「3. 思わなかった」とお答えの方にかがいます

問12-1 取得しなかった、または思わなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

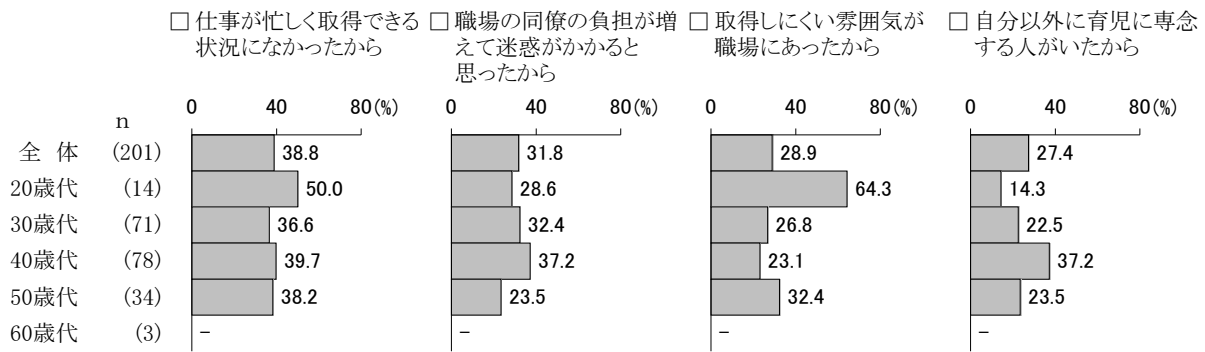
図表 3-4 育児休業を取得しなかった理由 (全体)



育児休業を取得しようと「思ったが取得しなかった」「思わなかった」という人に、その理由を聞いたところ、「仕事が忙しく取得できる状況になかったから」が38.8%で最も高く、以下「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思ったから」(31.8%)、「取得しにくい雰囲気が職場にあったから」(28.9%)、「自分以外に育児に専念する人がいたから」(27.4%)の順で続いている。(図表3-4)

年齢別でみると、30歳代（36.6%）、40歳代（39.7%）、50歳代（38.2%）では「仕事が忙しく取得できる状況になかったから」が、いずれの年代でも3割台半ば以上を占めている。40歳代では、「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思ったから」（37.2%）と「自分以外に育児に専念する人がいたから」（37.2%）が、他の年代より高くなっている。また、50歳代では「取得しにくい雰囲気が職場にあったから」が32.4%と高くなっている。（図表3-5）

図表3-5 育児休業を取得しなかった理由（年齢別 上位4項目）

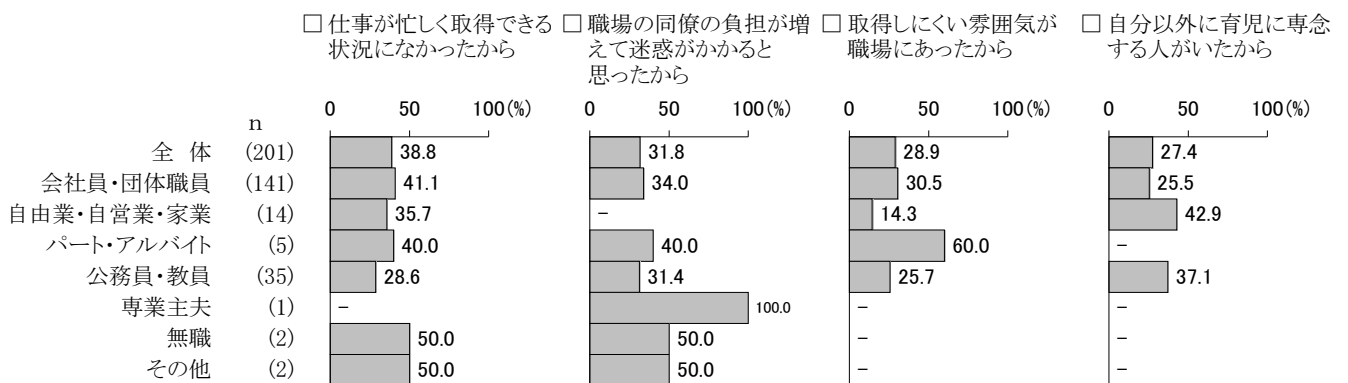


※70歳以上は回答者なし

※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

職業別でみると、会社員・団体職員では「仕事が忙しく取得できる状況になかったから」が41.1%と、公務員・教員（28.6%）より高くなっている。（図表3-6）

図表3-6 育児休業を取得しなかった理由（職業別 上位4項目）



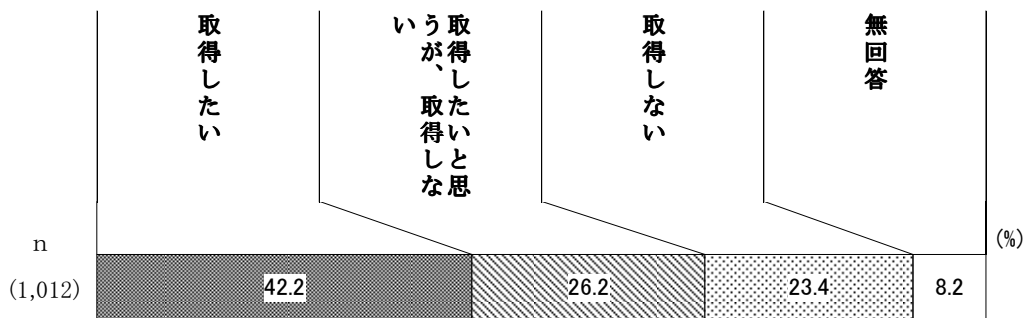
※学生は回答者なし

※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(3) 育児休業の取得意向

問13 今、あなたに子どもが生まれたとしたら、育児休業を取得したいと思いますか。生まれたと仮定してお答えください。(〇は1つ)

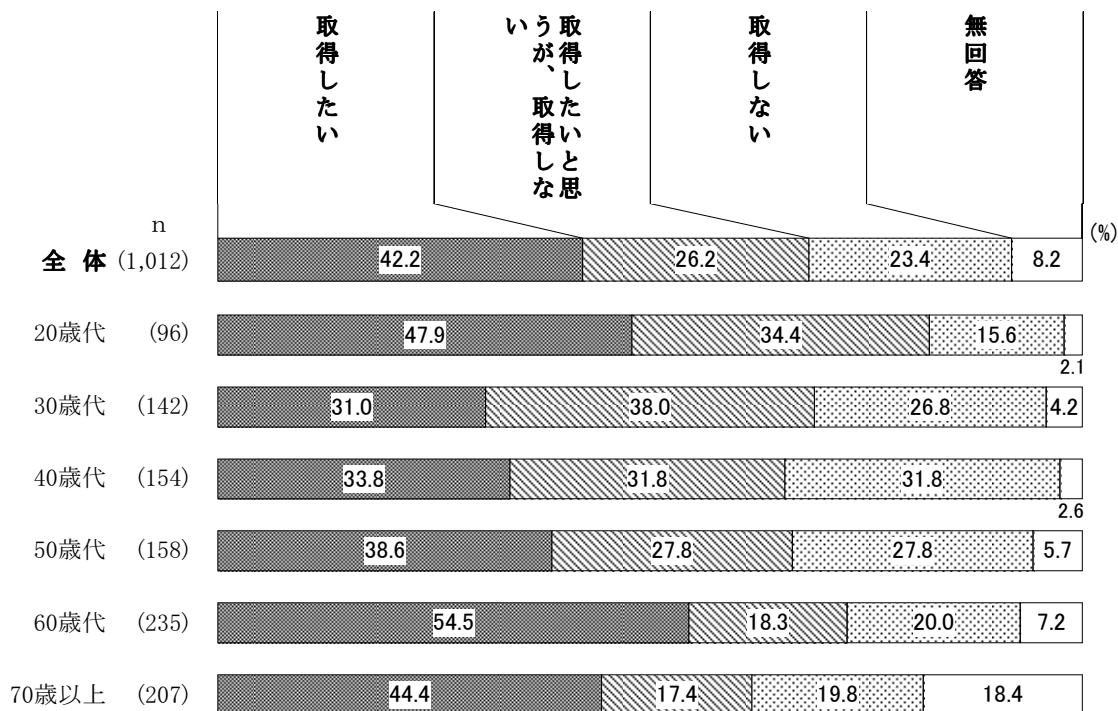
図表3-7 育児休業の取得意向 (全体)



子どもが生まれたとしたら、育児休業を「取得したい」は42.2%となっている。一方、「取得したいと思うが、取得しない」は26.2%、「取得しない」は23.4%となっている。(図表3-7)

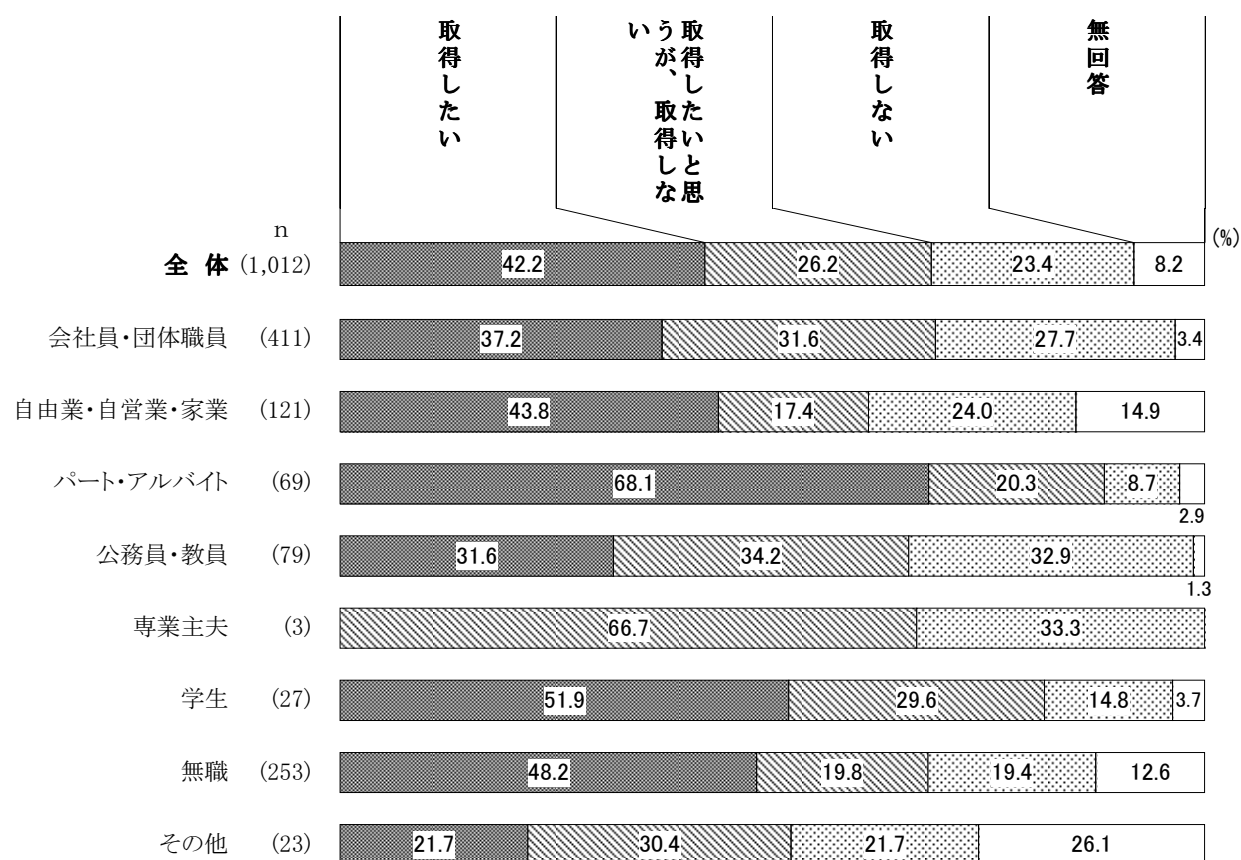
年齢別でみると、60歳代で「取得したい」が54.5%と5割を超えているほか、20歳代(47.9%)、70歳以上(44.4%)も4割台半ばを超えている。(図表3-8)

図表3-8 育児休業の取得意向 (年齢別)



職業別でみると、パート・アルバイトでは「取得したい」が68.1%と高くなっている。(図表3-9)

図表3-9 育児休業の取得意向（職業別）



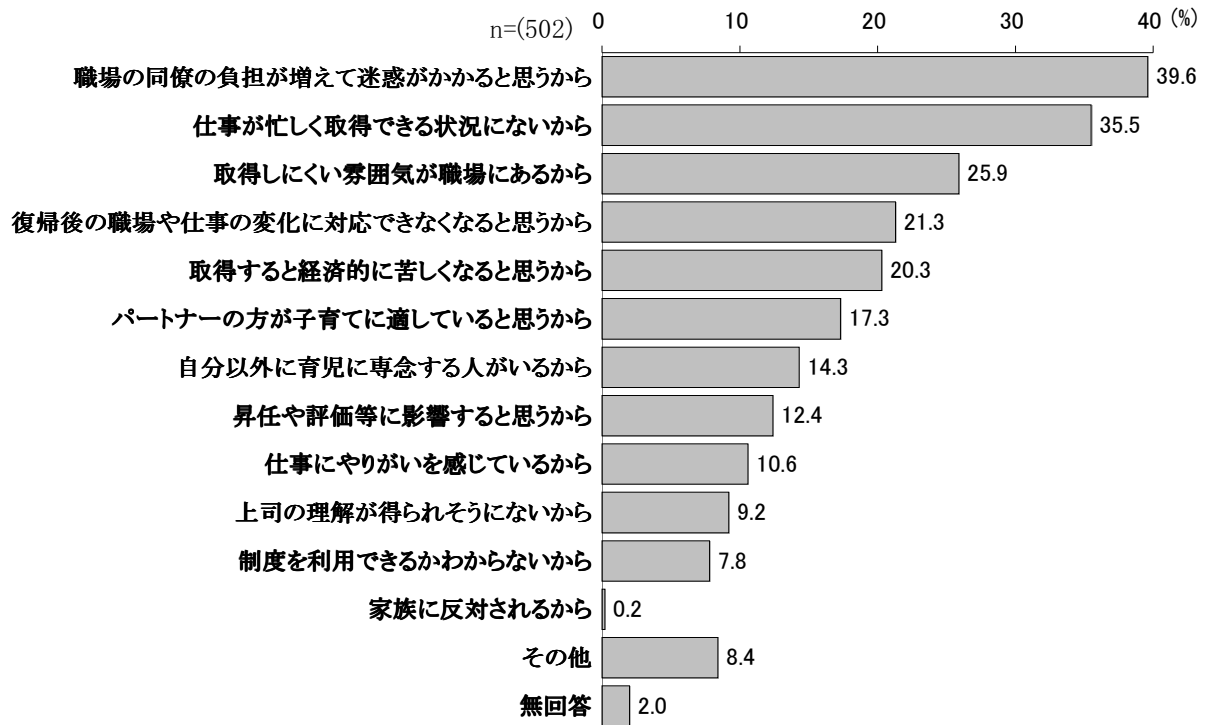
※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(4) 育児休業を取得しない理由

問13で「2. 取得したいと思うが、取得しない」、または「3. 取得しない」とお答えの方にかがいます

問13-1 取得しない理由は何ですか。(〇は3つまで)

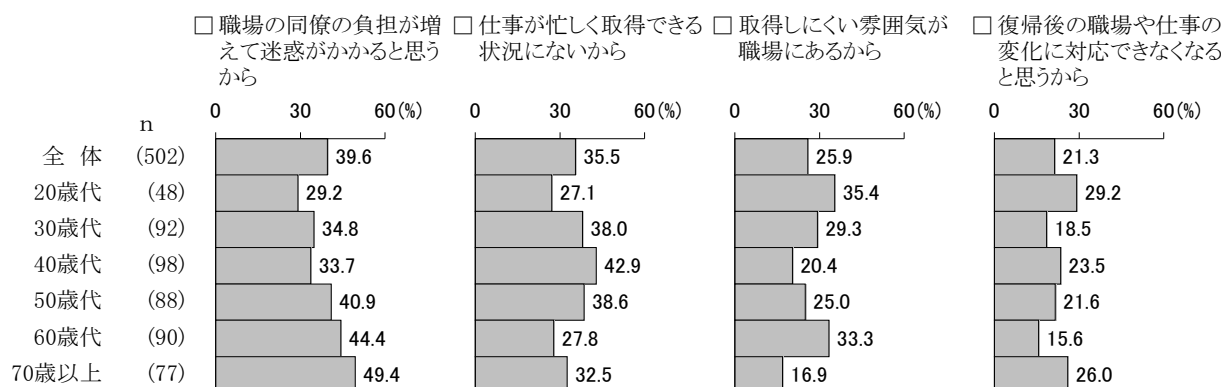
図表3-10 育児休業を取得しない理由(全体)



仮定の話ではあるが、育児休業を「取得したいと思うが、取得しない」「取得しない」という人に、その理由を聞いたところ、「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから」(39.6%)と、「仕事が忙しく取得できる状況にないから」(35.5%)が、いずれも3割を超え、特に高くなっている。(図表3-10)

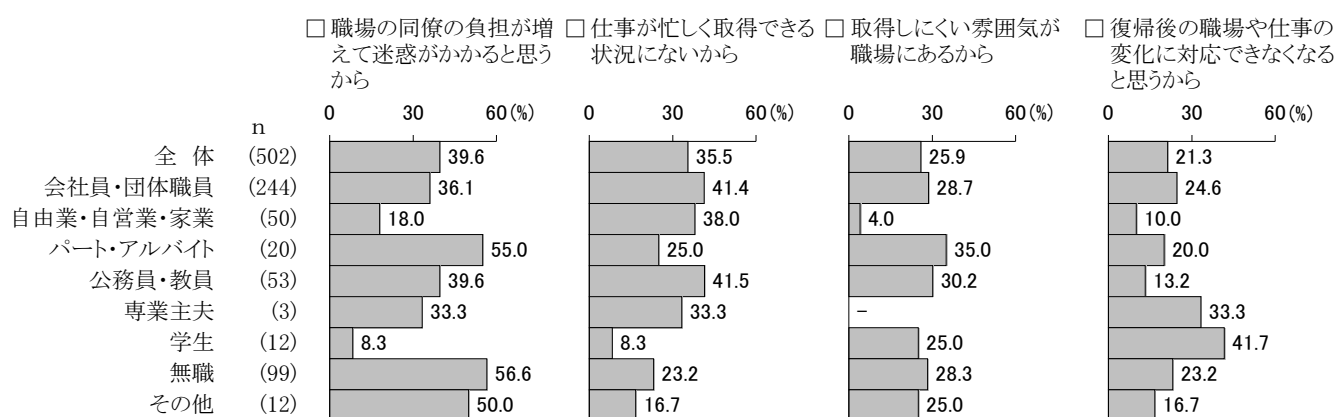
年齢別でみると、30歳代（38.0%）、40歳代（42.9%）、50歳代（38.6%）では「仕事が忙しく取得できる状況にないから」が4割前後を占め、他の年代より高くなっている。20歳代では「取得しにくい雰囲気があるから」が35.4%と、他の年代より高くなっている。また、60歳代、70歳以上では「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから」が、それぞれ44.4%、49.4%と高くなっている。（図表3-11）

図表3-11 育児休業を取得しない理由（年齢別 上位4項目）



職業別でみると、会社員・団体職員（41.4%）、自由業・自営業・家業（38.0%）、公務員・教員（41.5%）では「仕事が忙しく取得できる状況にないから」が、いずれも4割前後を占めている。また、パート・アルバイトでは「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから」が、55.0%と高くなっている。（図表3-12）

図表3-12 育児休業を取得しない理由（職業別 上位4項目）



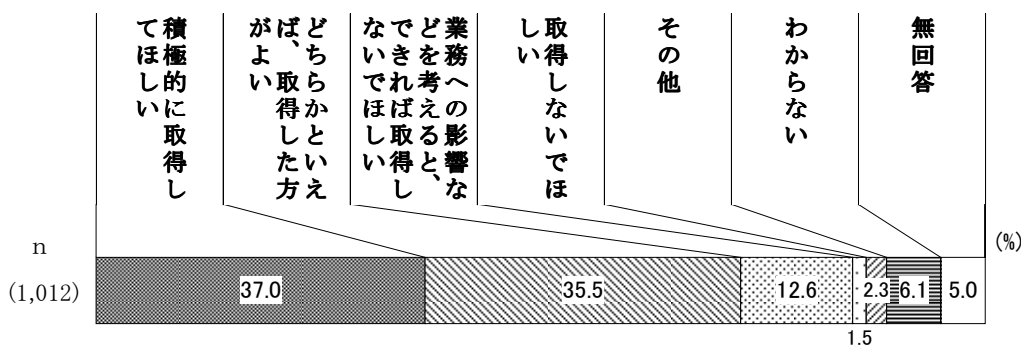
※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない



(5) 育児休業取得者に対する意識

問14 あなたの職場で男女を問わず育児休業を取得しようとする人がいたとしたら、どう思いますか。(〇は1つ)

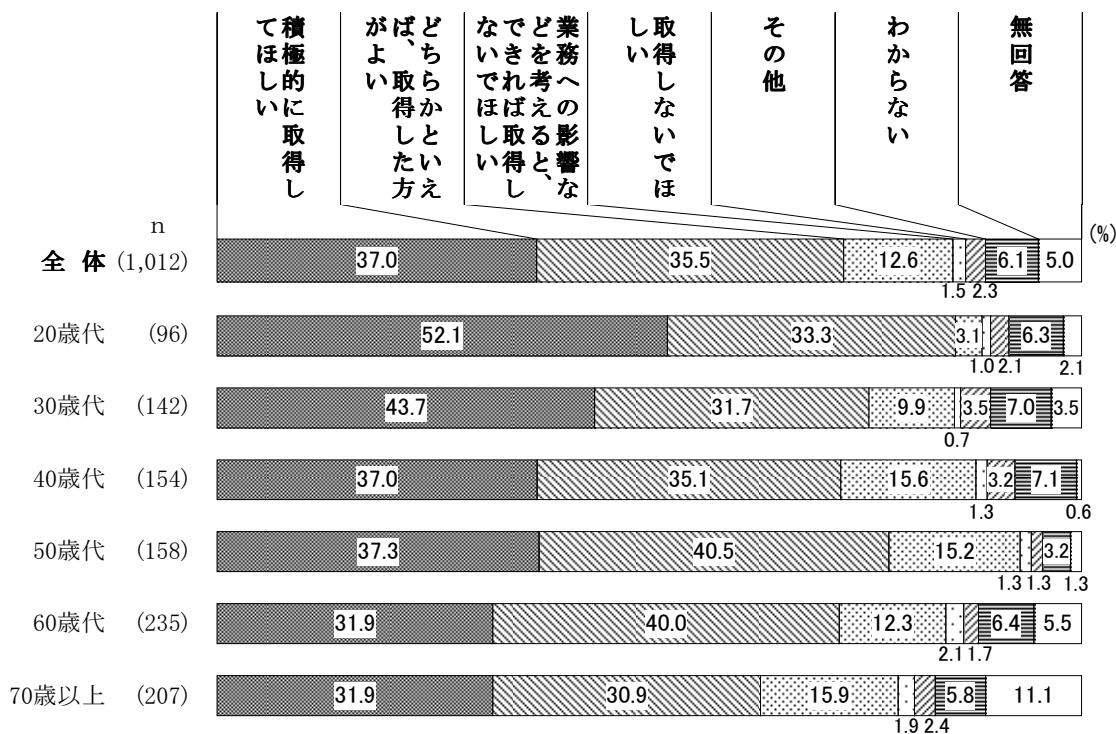
図表3-13 育児休業取得者に対する意識(全体)



職場で育児休業を取得しようとする人がいた場合、「積極的に取得してほしい」が37.0%で、これに「どちらかといえば、取得した方がよい」が35.5%で次いでいる。一方、「業務への影響などを考えると、できれば取得しないほしい」は12.6%となっている。(図表3-13)

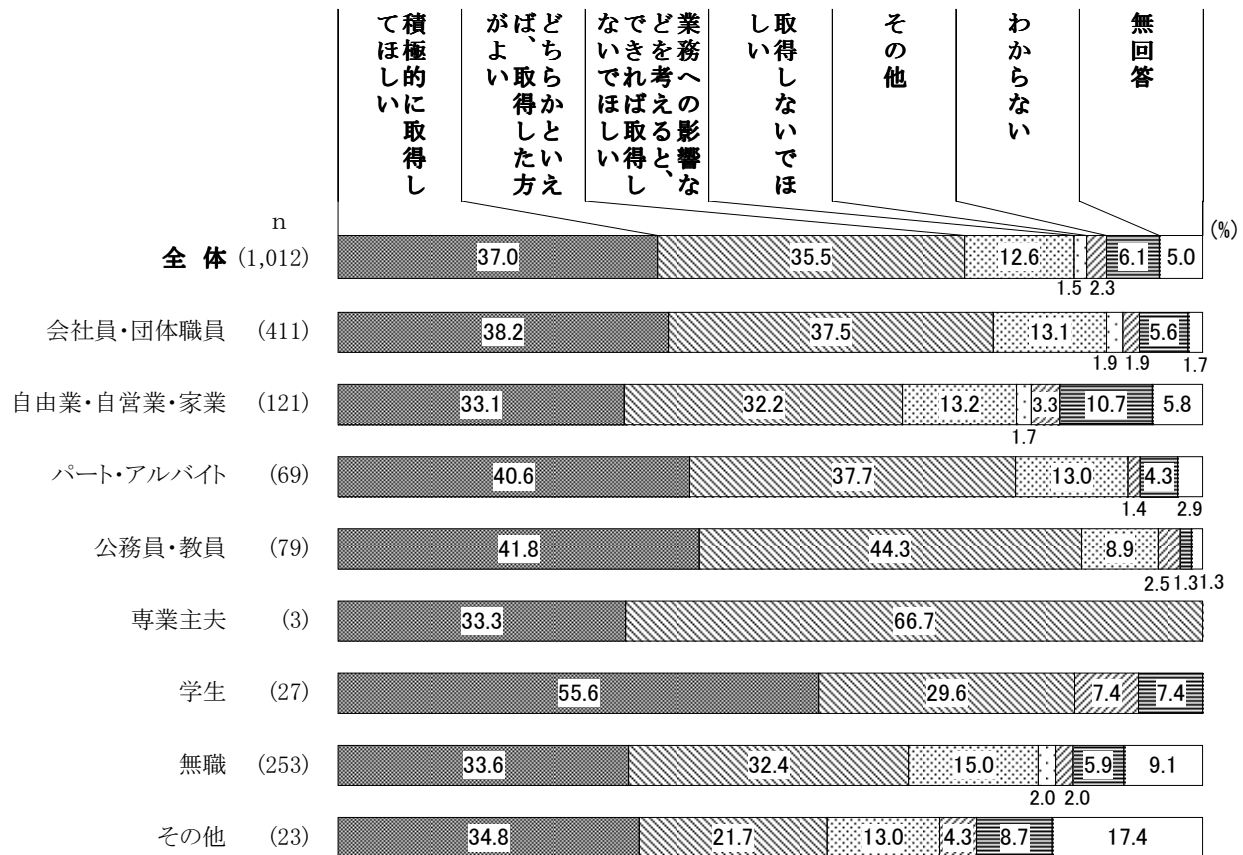
年齢別でみると、20歳代では「積極的に取得してほしい」が52.1%を占めているが、年齢が高くなるにつれて減少し、60歳代、70歳以上では31.9%となっている。(図表3-14)

図表3-14 育児休業取得者に対する意識(年齢別)



職業別でみると、会社員・団体職員（38.2%）、パート・アルバイト（40.6%）、公務員・教員（41.8%）では、「積極的に取得してほしい」が、いずれも4割前後を占めている。（図表3-15）

図表3-15 育児休業取得者に対する意識（職業別）

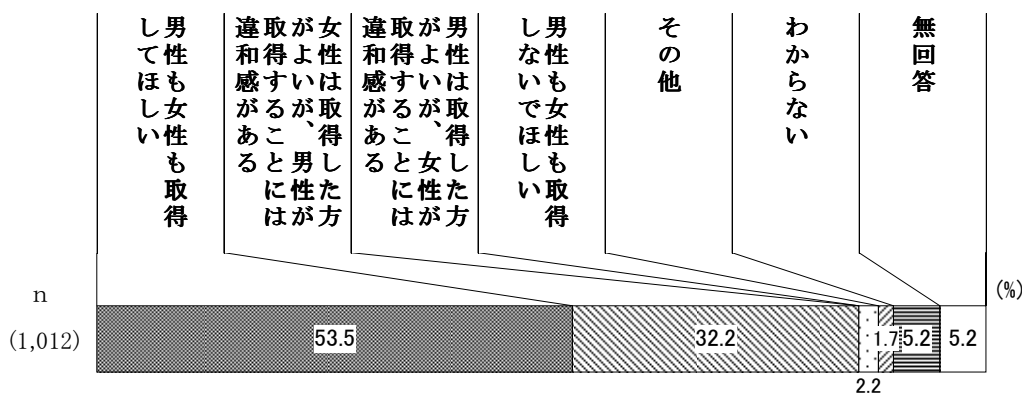


※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(6) 育児休業取得者の性別による意識

問15 あなたの職場で育児休業を取得しようとする人がいたとしたら、性別によってどう思いますか。(〇は1つ)

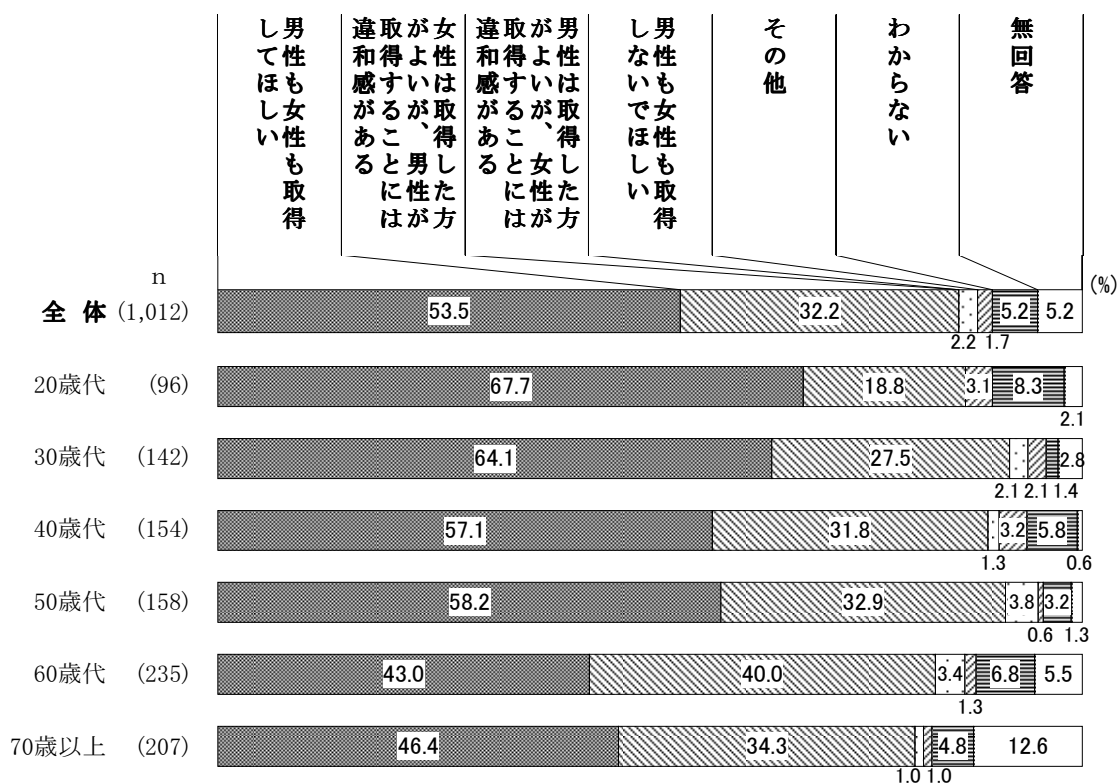
図表 3-16 育児休業取得者の性別による意識 (全体)



職場で育児休業を取得しようとする人がいた場合、その人の性別によって、考えの違いがあるかを聞くと、「男性も女性も取得してほしい」が53.5%で最も高く、これに「女性は取得した方がよいが、男性が取得することには違和感がある」が32.2%で次いでいる。(図表 3-16)

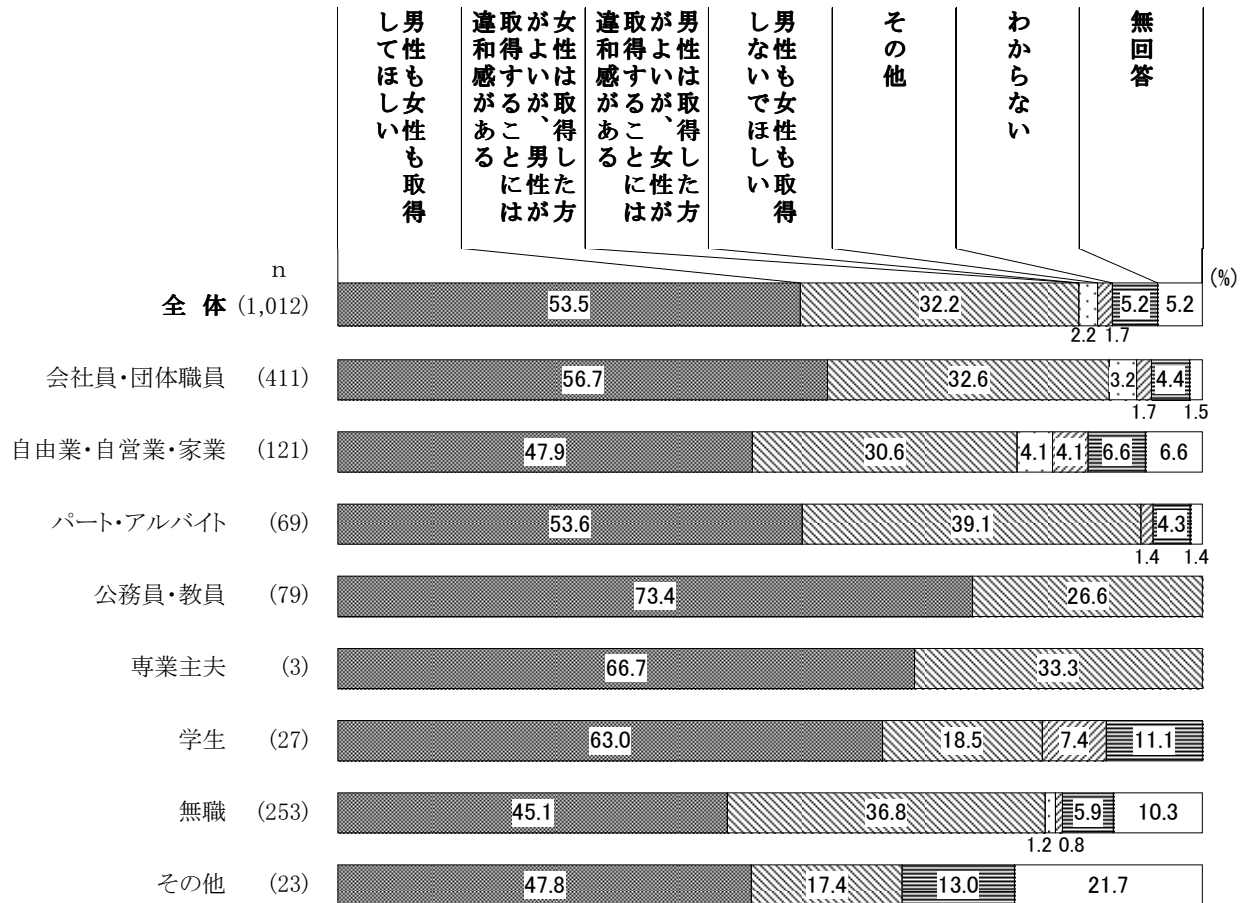
年齢別でみると、20歳代、30歳代では「男性も女性も取得してほしい」が、それぞれ67.7%、64.1%と他の年代より高くなっている。一方、40歳代以上では「女性は取得した方がよいが、男性が取得することには違和感がある」が、いずれの年代でも3割を超え、特に60歳代では40.0%を占めている。(図表 3-17)

図表 3-17 育児休業取得者の性別による意識 (年齢別)



職業別でみると、公務員・教員では「男性も女性も取得してほしい」が73.4%を占めているほか、会社員・団体職員、パート・アルバイトも5割台半ばとなっている。一方、パート・アルバイトでは「女性は取得した方がよいが、男性が取得することには違和感がある」が39.1%と他の層より高くなっている。(図表3-18)

図表3-18 育児休業取得者の性別による意識（職業別）



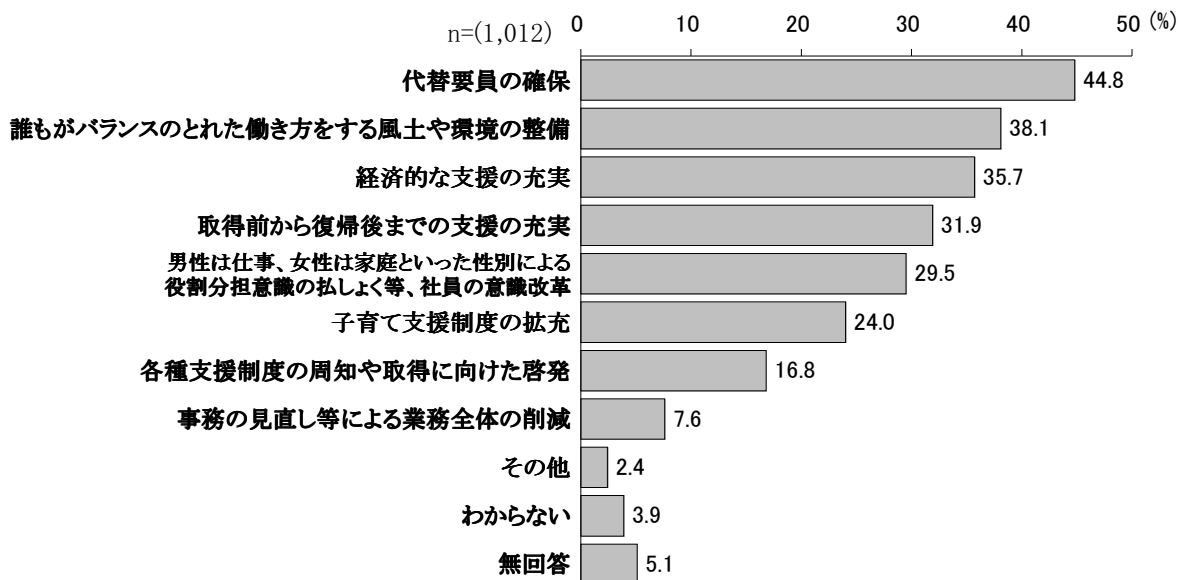
※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(7) 男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこと

問16 男性が育児休業を取得しやすくするためには、何が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

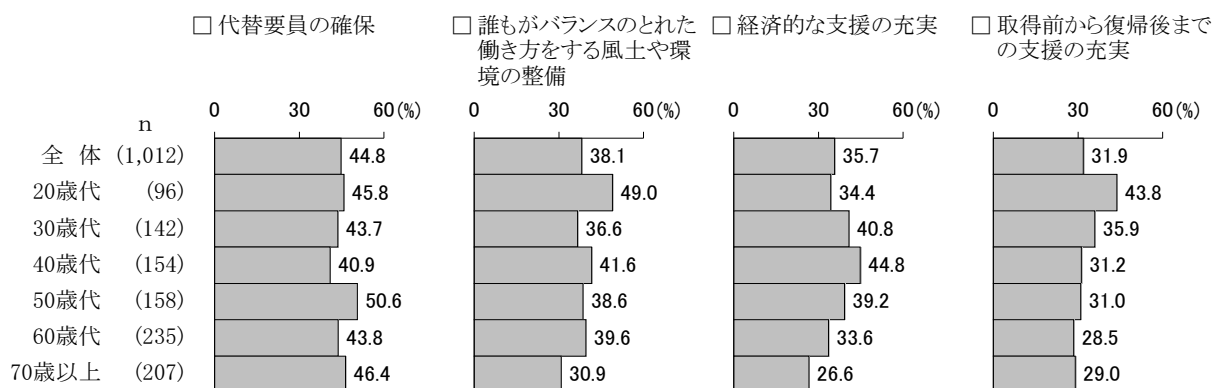
図表3-19 男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこと (全体)



男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこととしては、「代替要員の確保」が44.8%で最も高く、以下「誰もがバランスのとれた働き方をする風土や環境の整備」(38.1%)、「経済的な支援の充実」(35.7%)の順で続いている。(図表3-19)

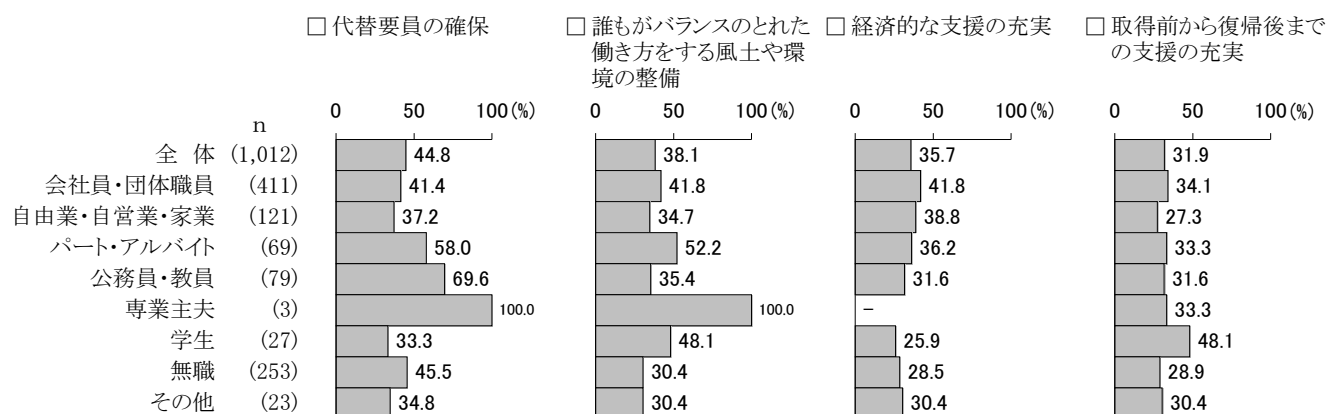
年齢別でみると、20歳代では「誰もがバランスのとれた働き方をする風土や環境の整備」が49.0%と高くなっている。40歳代では「経済的な支援の充実」が44.8%を占めているほか、30歳代、50歳代も4割前後となっている。また、50歳代では「代替要員の確保」も50.6%と他の年代に比べて高くなっている。(図表3-20)

図表3-20 男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこと (年齢別 上位4項目)



職業別でみると、公務員・教員では「代替要員の確保」が69.6%を占めているほか、パート・アルバイトでも58.0%となっている。また、パート・アルバイトでは「誰もがバランスのとれた働き方をする風土や環境の整備」も52.2%と半数を超えている。また、会社員・団体職員、自由業・自営業・家業では「経済的な支援の充実」が、それぞれ41.8%、38.8%と4割前後を占め、他の層より高くなっている。(図表3-21)

図表3-21 男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこと（職業別 上位4項目）

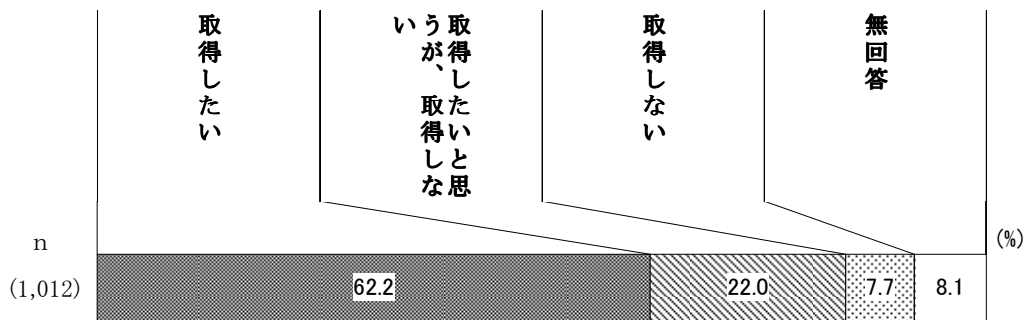


※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(8) 介護休業の取得意向

問17 今、あなたに家族等の介護をする必要が生じたら、介護休業を取得したいと思いますか。介護をすると仮定してお答えください。(○は1つ)

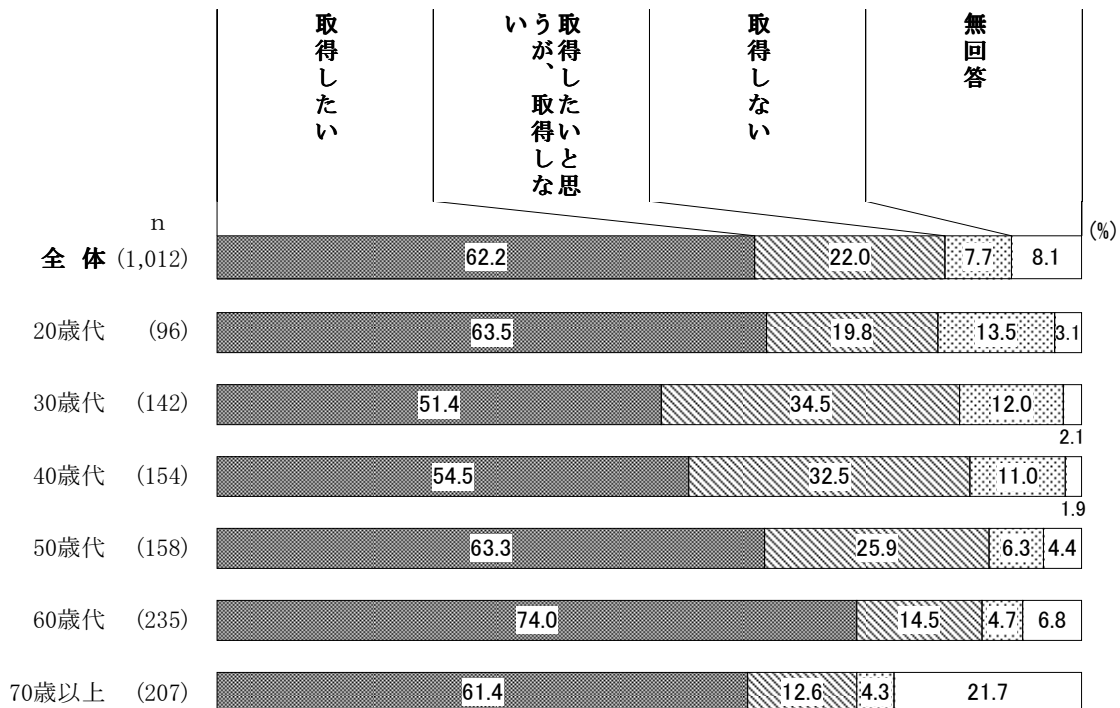
図表3-22 介護休業の取得意向 (全体)



介護休業については、「取得したい」が62.2%を占めている。一方、「取得したいと思うが、取得しない」は22.0%となっている。(図表3-22)

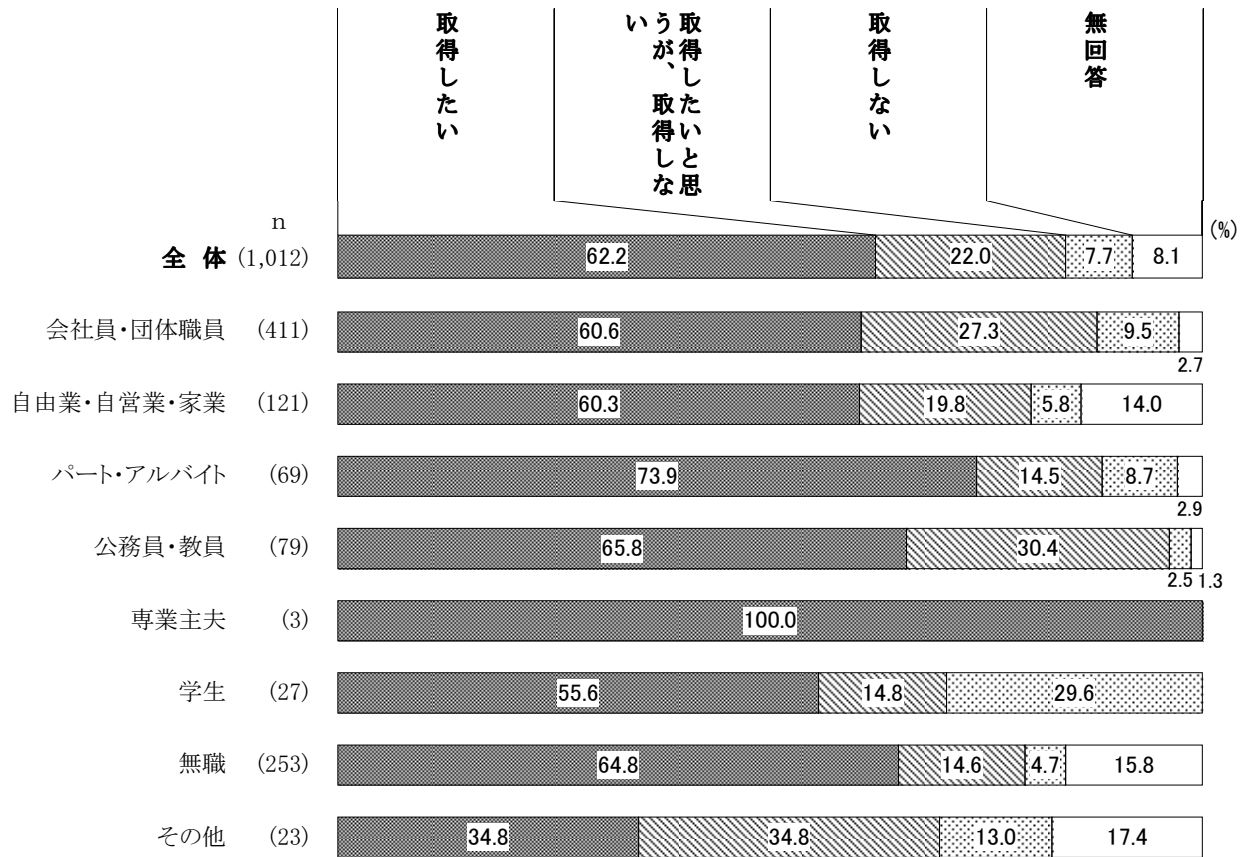
年齢別でみると、60歳代では、「取得したい」が74.0%と高く、20歳代(63.5%)、50歳代(63.3%)、70歳以上(61.4%)でも6割を超えている。(図表3-23)

図表3-23 介護休業の取得意向 (年齢別)



職業別でみると、パート・アルバイトでは「取得したい」が73.9%と、他の層より高くなっている。(図表3-24)

図表3-24 介護休業の取得意向（職業別）



※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

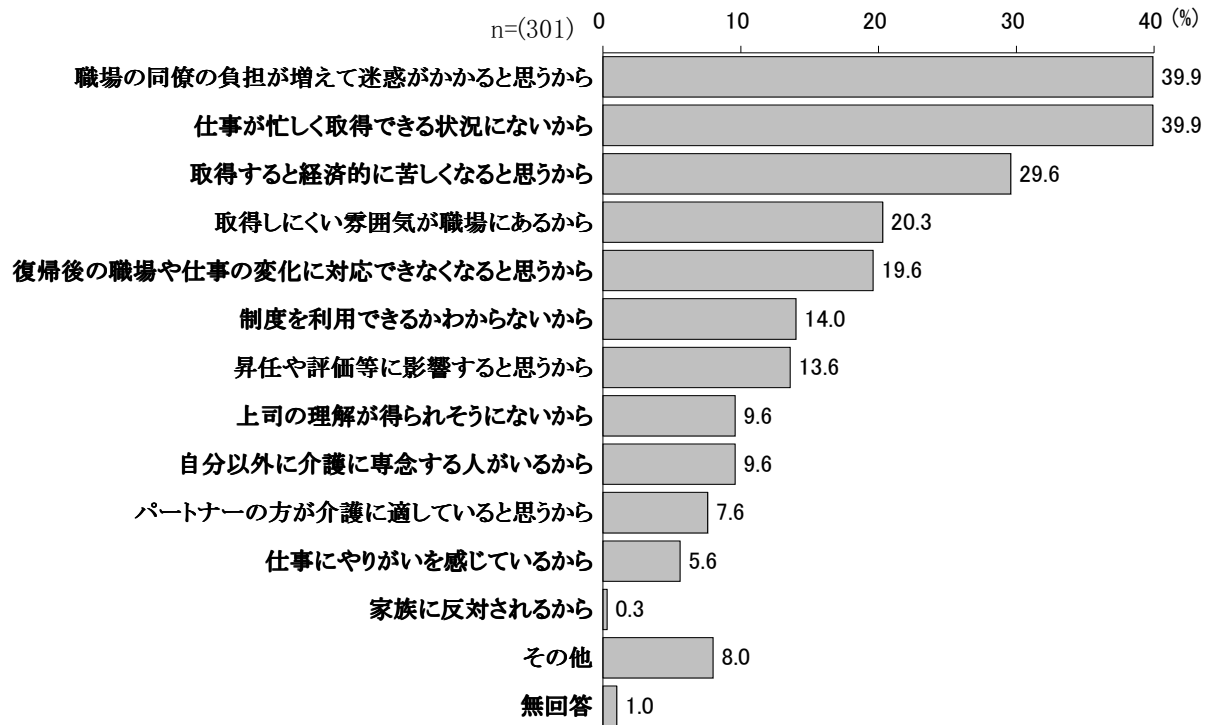


(9) 介護休業を取得しない理由

問17で「2. 取得したいと思うが、取得しない」、または「3. 取得しない」とお答えの方に  
うかがいます

問17-1 取得しない理由は何ですか。(〇は3つまで)

図表 3-25 介護休業を取得しない理由

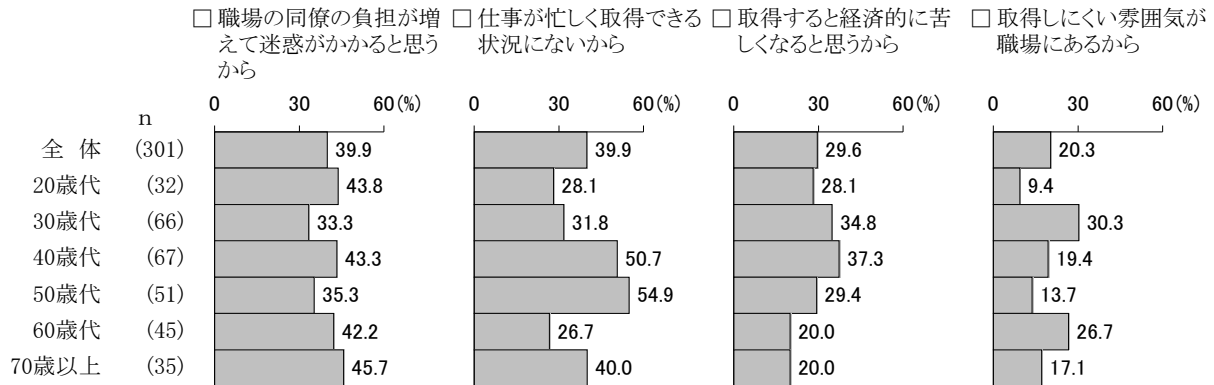


仮定の話ではあるが、介護休業を「取得したいと思うが、取得しない」「取得しない」という人に、その理由を聞いたところ、「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから」と「仕事が忙しく取得できる状況にないから」（ともに39.9%）が、いずれも4割近くを占め、特に高くなっている。

(図表 3-25)

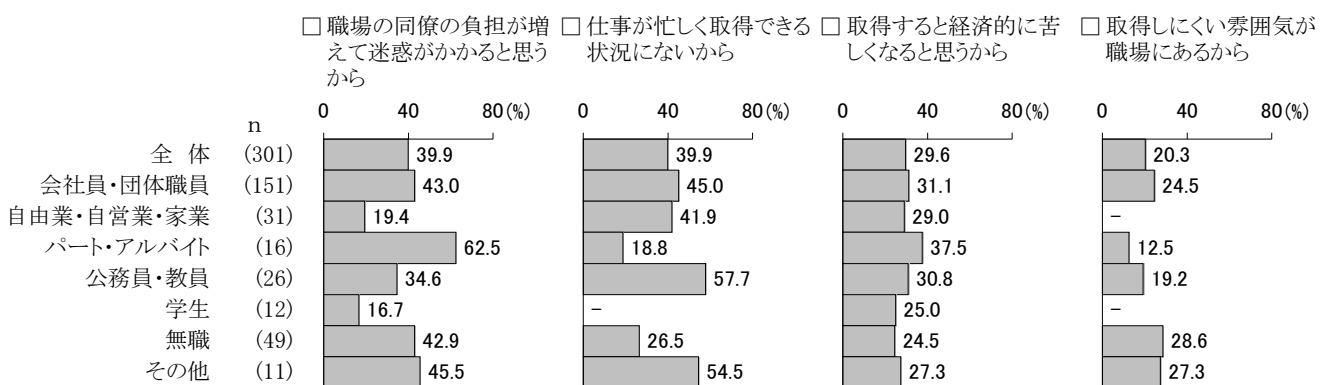
年齢別で見ると、30歳代、40歳代では「取得すると経済的に苦しくなると思うから」が、それぞれ34.8%、37.3%と他の年代より高く、30歳代では「取得しにくい雰囲気があるから」(30.3%)も高くなっている。また、40歳代、50歳代では「仕事が忙しく取得できる状況にないから」が、それぞれ50.7%、54.9%と5割を超え、他の年代より高くなっている。(図表3-26)

図表3-26 介護休業を取得しない理由（年齢別 上位4項目）



職業別で見ると、パート・アルバイトでは、「職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから」(62.5%)が、公務員・教員では「仕事が忙しく取得できる状況にないから」(57.7%)が他の層より高くなっている。(図表3-27)

図表3-27 介護休業を取得しない理由（職業別 上位4項目）



※専業主婦は回答者なし

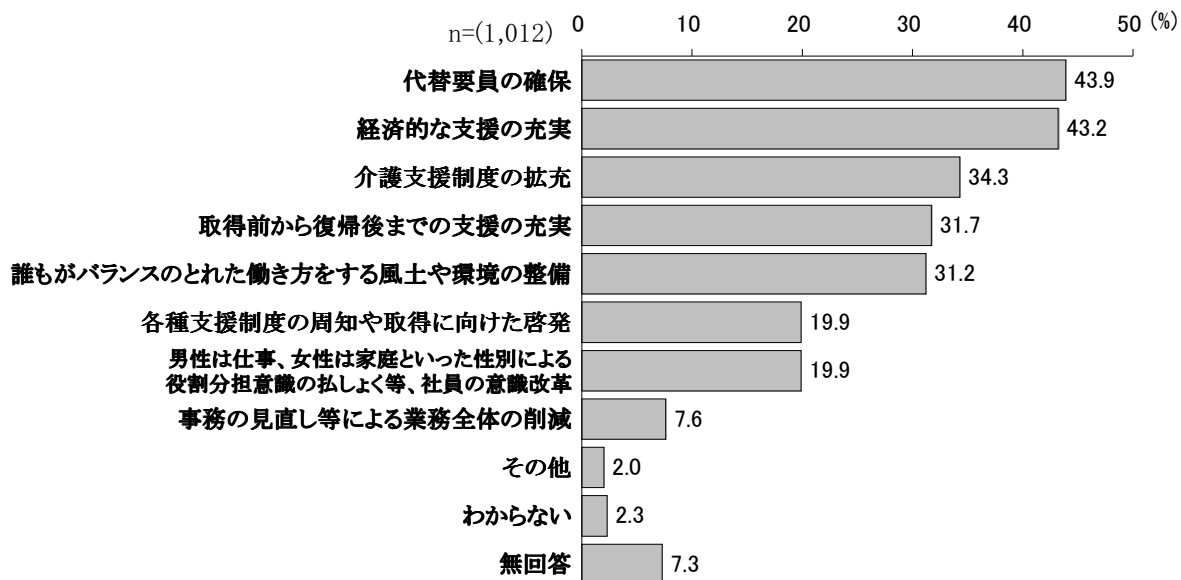
※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない

(10) 男性が介護休業を取得しやすくするために必要なこと

問18 男性が介護休業を取得しやすくするためには、何が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

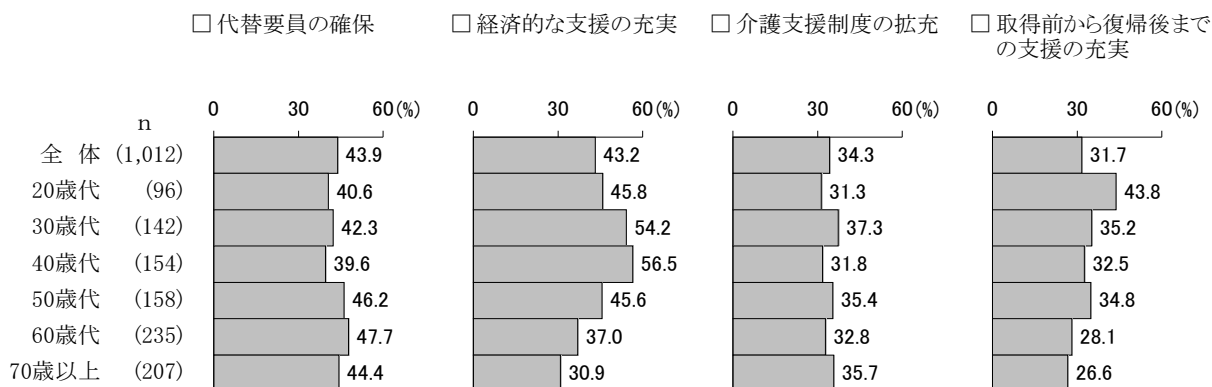
図表3-28 男性が介護休業を取得しやすくするために必要なこと（全体）



男性が介護休業を取得しやすくするために必要なこととしては、「代替要員の確保」(43.9%)と「経済的な支援の充実」(43.2%)の2項目が、いずれも4割を超えて、特に高くなっている。また、「介護支援制度の拡充」(34.3%)、「取得前から復帰後までの支援の充実」(31.7%)、「誰もがバランスのとれた働き方をする風土や環境の整備」(31.2%)も、3割を超えて高くなっている。(図表3-28)

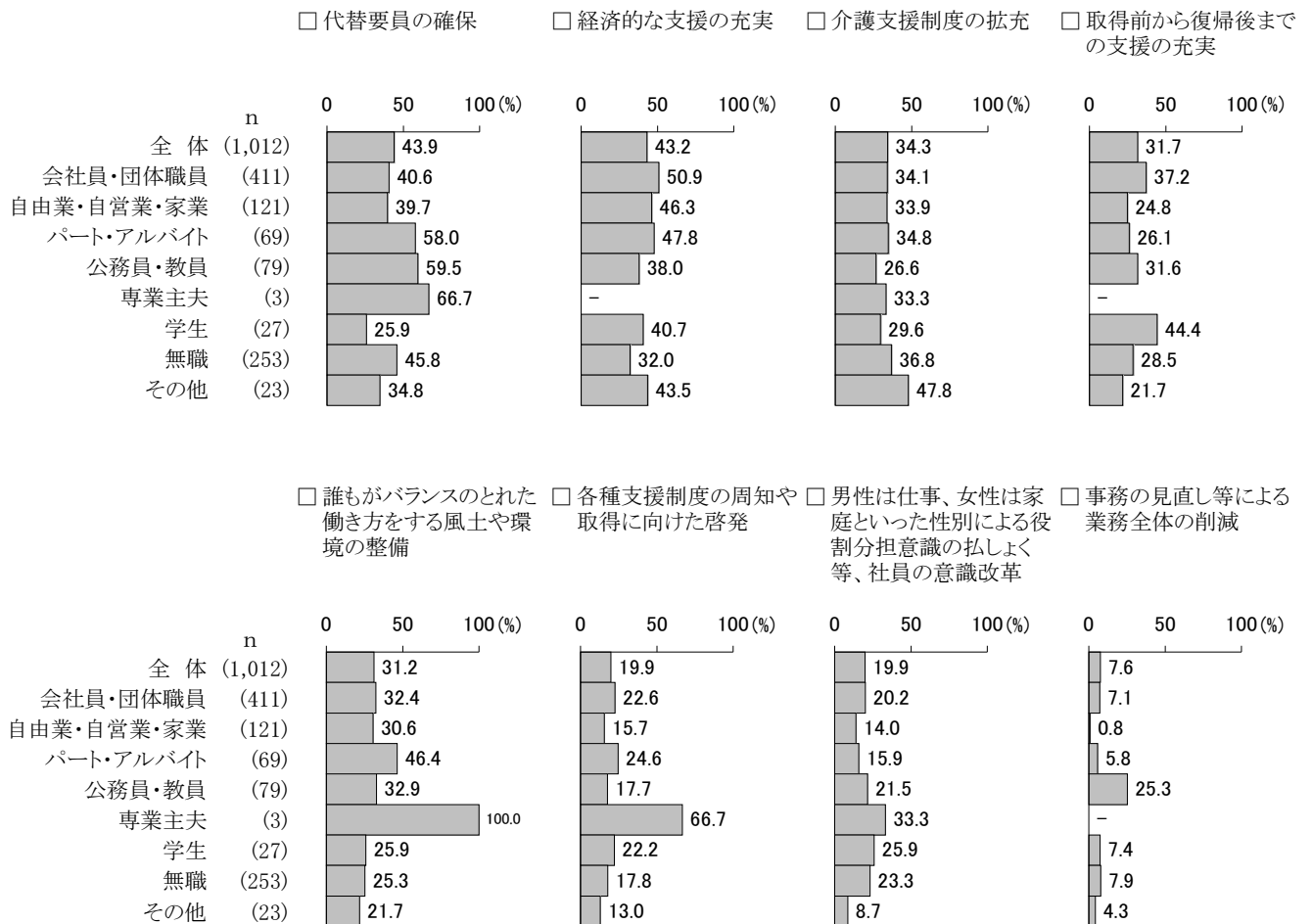
年齢別でみると、20歳代では「取得前から復帰後までの支援の充実」(43.8%)が他の年代より高く、30歳代、40歳代では「経済的な支援の充実」が、それぞれ54.2%、56.5%と5割を超えて高くなっている。また、50歳代(46.2%)、60歳代(47.7%)、70歳以上(44.4%)では「代替要員の確保」が、いずれの年代でも4割台半ばを占めている。(図表3-29)

図表3-29 男性が介護休業を取得しやすくするために必要なこと（年齢別 上位4項目）



職業別でみると、会社員・団体職員、自由業・自営業・家業では「経済的な支援の充実」が、それぞれ50.9%、46.3%と高くなっている。パート・アルバイトでは「経済的な支援の充実」(47.8%)と並んで「代替要員の確保」(58.0%)が高くなっている。また、公務員・教員では「代替要員の確保」が59.5%と6割近くを占めているほか、「事務の見直し等による業務全体の削減」(25.3%)も高くなっている。(図表3-30)

図表3-30 男性が介護休業を取得しやすくするために必要なこと(職業別)



※回答者が19人以下の場合、分析ではふれていない